

議会運営委員会行政視察報告

(平成27年1月22日～23日)

視察先

滋賀県 大津市(議会ICT、議会BCP(業務継続計画))
奈良県 奈良市(議会ICT、議会運営、議会改革)



150インチスクリーンを備える大津市議会議事堂

<視察者>

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 黒木 高広 |
| 副委員長 | 黒木 金喜 |
| 委員 | 海野 誓生 |
| 委員 | 三樹喜久代 |
| 委員 | 西村 豪武 |

滋賀県 大津市

人口 (平成27年2月現在)

| | |
|-----|------------------|
| 男 | 1 6 5 , 9 5 2 人 |
| 女 | 1 7 6 , 6 8 1 人 |
| 計 | 3 4 2 , 6 3 3 人 |
| 世帯数 | 1 4 2 , 5 2 3 世帯 |



大津市役所

一般会計歳出決算額

1 0 4 , 2 9 4 , 5 4 3 千円 (平成24年度決算)

| うち議会費決算額 | 一般会計に占める議会費の割合 | 議員数 |
|------------------|-----------------------|-------|
| 6 5 2 , 7 6 6 千円 | 0 . 6 % (日向市は0 . 9 %) | 3 8 人 |

大津市議会の取り組み

議会活性化の取り組み

「議会の政策立案機能の強化」、「議会審議の活性化」、「議会活動の透明性向上の方策」に取り組むため、副議長・議会運営委員会委員で構成する「議会活性化検討委員会」を平成21年度に設置。



(1) 政策立案機能の強化

ア 政策検討会議の設置

議会が積極的に条例などを提案するため、各会派から選出した議員で構成。

- ・ 24年度 大津市子どものいじめの防止に関する条例の制定
- ・ 25年度 「議会BCP（業務継続計画）」の策定

イ 大学と「パートナーシップ協定」を締結（龍谷、立命館、同志社）

大学の知的資源を議会改革に活用し、政策立案機能の強化と人材育成を目指す。

- ・ 政策検討会議などに大学から教員を招いて、専門的な助言を求める。
- ・ 学生インターンシップ受け入れ、人的交流による相互連携 など

大津市議会の取り組み

- (2) 議会審議の活性化として、予算決算常任委員会の設置
- (3) 議会活動の透明性向上の方策
 - ・ 収支報告書のホームページ公開
 - ・ 情報公開制度による申請をしなくても、帳票の一般公開が可能
 - ・ 使途基準を明確化するため、独自の運用マニュアルを作成
 - ・ 議長に是正措置命令権を付与して、議会全体で会派での運用に関与
- (4) 会議規則の条例化、会議規程の制定（大津市議会のみ。 法的課題あり）
- (5) 通年議会の導入（25年度）
- (6) 議会のICT化（26年度）



2013マニフェスト大賞：議会グランプリ
2014マニフェスト大賞：審査委員会特別賞

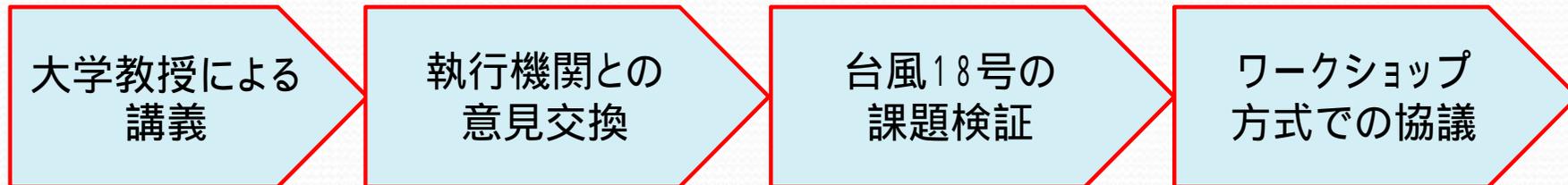


大津市議会BCP(業務継続計画)

1 策定経緯

- H23.3 東日本大震災 専決処分が乱発、議会の機能低下。(全国的課題)
- H24.8 豪雨災害 大規模災害への体制整備(市独自の課題)
- H25.5 議員研修会 「災害時における議会の対応について」。BCPの必要性の認識
- H25.6 議会としてBCPを策定することを決定。

2 策定経過 (H25.6 ~ H26.3 : 全10回)



(協議内容)

- ・ 議員、議会の役割
- ・ BCPの基本方針
- ・ BCPにおける体制構築
- ・ BCPの要点とポイント
- ・ BCPの重要事項
- ・ 議員の行動基準
- ・ BCPの具体的内容と手法
- ・ BCPの枠組み
- ・ 議会災害対策会議 など

大津市議会BCP(業務継続計画)

3 策定のポイント

議会機能を維持すること(安全確保、審議環境の確保、的確な情報収集)
議員は“非代替性(代理はない)”。合議体の構成員であり地域の構成員という自覚。

1 議員・事務局職員の安全確保

議会事務局の体制

- ・ 事務局職員の行動基準

- ・ 議員への安否確認方法と確認事項

議会の体制

- ・ 議会災害対策会議の設置
- ・ 発生時期に応じた議員の行動基準

- ・ 議員の基本的行動
- ・ 対策会議などの指揮・命令系統

災害対策会議の議員は、災害直後から他の業務(地域活動等)に優先して、災害対応に専属!

2 審議を行う環境の確保・整備

行動時期に応じた活動内容の整理

行動形態、行動基準、参集方法などの具体的基準を明記し、迅速な行動を図る。

審議を継続するための環境整備

庁舎、通信設備、情報システム、備蓄品などの課題を明記し、計画的整備(予算確保)へ活かす。

大津市議会BCP(業務継続計画)

4 行動形態

| 時期 | 内容 | 行動 |
|----------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 初動期 (0～3日) | 事務局職員参集 対策会議設置 安否確認、情報収集 | 議員は、災害対策会議からの参集指示があるまでは、地域活動などに従事 |
| 中期 (3～7日) | 災害情報の収集・把握 ・共有 | 議員は、対策会議からの参集指示があれば、速やかに参集し、議員活動に専念 |
| 後期 (7日～1ヶ月) | 議会機能の早期復旧 | 本会議・委員会を開催し、復旧・復興予算などの審議 |
| 1ヶ月後 | 平常時の議会組織体制へ | 復興計画などについて、議会として審議 |

5 情報の的確な収集(市災害対策本部との関係)

災害対応に実質的かつ主体的に当るのは行政であり、行政が初動及び応急対応に専念できるよう配慮が必要。議会は、自らの役割を踏まえ、災害情報の迅速な収集等に当たり議会内の体制整備と併せて市との協力・連携体制を構築する。

**議員の情報提供・収集などは、緊急時などを除き可能な限り対策会議を窓口とする。
(市災害対策本部への直接の連絡等は原則として行わない。)**

大津市議会BCP(業務継続計画)

6 議会の防災計画と防災訓練

(1) 議会の防災計画など

議会BCPの検討段階において多様かつ広範囲な意見が積極的に交換され、減災対策など長期的な視点をもって取り組むべき事項(防災計画)や、議会の役割を明記した総合的な観点を踏まえた防災に係る条例の必要性が明確になった。

(2) 議会の防災訓練

議会BCPの内容を検証・点検し、より実効性を高める。

平成26年8月10日 初の議会BCPを発動

安否確認の遅れ、議員参集の遅れ

災害種類に応じた作業手順、メールひな形の作成

議員の役割、参集基準の再確認

平成26年11月4日 議場内での災害時行動訓練と

HUG(避難所運営)訓練の実施

議場内のイスが固定のため、机下への避難に苦慮。

7 見直し体制

議会BCPの見直しは、対策会議を中心に行い、必要に応じて計画策定時の議員も参加できる。



大津市議会ICT(情報通信技術の活用)

1 経緯

H24.9 議場放送設備故障。議会活性化検討委員会で議会ICT化の促進を決定。

大津市議会ICT化構想

【目的】 議会運営の安定化、効率化、迅速化によって「市民に開かれた議会」の実現

【予算要求の概要】

- 1 老朽化した議場設備の更新(H25)
- 2 タブレット端末導入(H26)
 - ・投票結果表示の迅速化、詳細化
 - ・議案資料のペーパーレス化
 - ・本会議運営の効率化
 - ・議会報告の効率化、迅速化

【具体的な追加機能】

- ・HDカメラ導入による議場研修への対応
- ・カメラ、マイク、テロップ連動化による効率化
- ・ICレコーダーの導入
- ・電子採決システム、議場モニターによる議員個別賛否表示、結果表示の迅速化
- ・ペーパーレス化による省力化、迅速化
- ・本会議中の議員間、職員間の情報伝達の実現
- ・執行部からの報告・情報提供の省力化、迅速化

大津市
IT推進
プラン
に
位置付け

H25.5 赤外線マイク、47型液晶モニター、議会中継、電子採決システムの導入

H26.2 150インチ大型スクリーン、個別賛否表示システム導入

H26.6 議場内補足資料の投影、ネット配信(アクセス数3,000~13,000件/月)

H26.11 タブレット端末の導入

議場の見える化、資料のペーパーレス化、庁外における伝達手段確保、
発言訂正等への迅速対応

大津市議会ICT(情報通信技術の活用)

2 整備状況

| 内容 | 予算等 |
|--|-------------|
| 赤外線マイク、HDカメラ、タッチパネルソフト(音声、テロップ、カメラの一括操作) | 2,650万円(5年) |
| 150インチ大型スクリーン、プロジェクター、議員の個別賛否表示システム | 930万円(5年) |
| 速記者の廃止 | 110万円(1年) |
| WiFi整備、開発導入初期費、クラウド・会議システム・グループウェア利用料 | 1,690万円(5年) |
| タブレットリース 74台×月2,740円×12月 | 243万円(1年) |
| 通信料金(議員は個人負担と政務活動費(50:50)、執行部・職員は全額公費) | 2,355万円(5年) |

3 導入システム等

【会議(同期)システム】

- ・タブレット端末の一括操作
- ・親機と子機を連携「同期」

【議場内通信システム(全国初)】

- ・本会議等におけるタブレット間のメッセージを送受信
- ・議長、議員、事務局、市長、部長、議場外職員間でメッセージを送受信

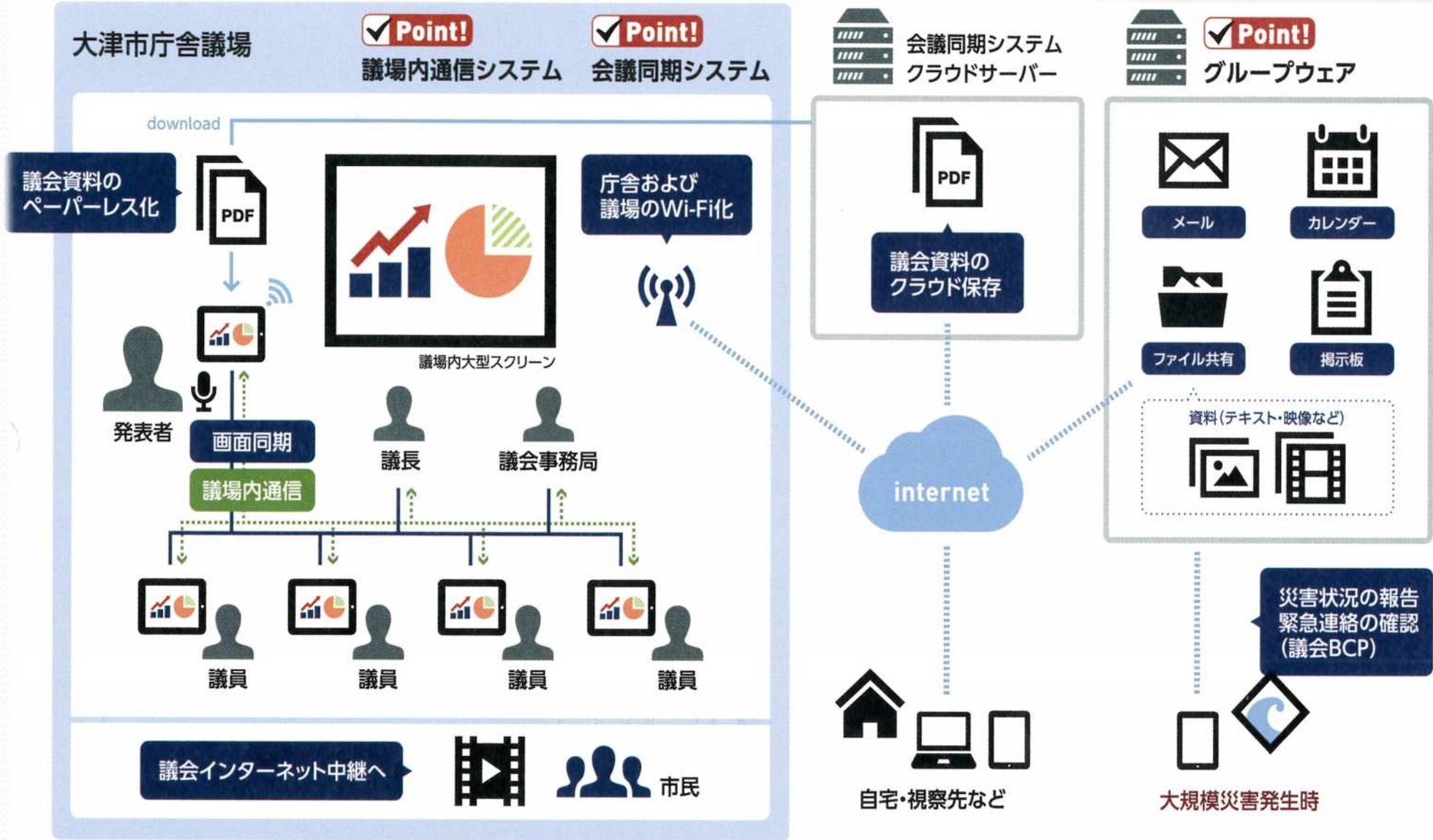
【グループウェア】

- ・メッセージ、カレンダー、掲示板、アドレス帳、ファイル管理、議会日程等のスケジュールを同期して活用。 招集通知などにも。
- ・緊急・重要情報を迅速に配信(議会BCPに活用)
- ・議案書や予算・決算資料などをクラウド保存し、随時、閲覧可能。
- ・クラウド上のソフトを活用し、他機器からID/パスワードでアクセス可能。



用紙代で年間200万円以上の削減見込

大津市議会ICT事業イメージ



大津市議会ICT(情報通信技術の活用)

4 運用等

(1) タブレットを活用する会議

本会議、委員会、全員協議会等。今後は、政策検討会議など随時増やす予定。

(2) 電子化する資料

議案書、予算決算資料、その他説明資料。当面は紙と併用（H27.11廃止目標）

(3) 業者選定過程

公募型プロポーザル。審査委員会で、プレゼン、デモ体験を経て決定。

(4) セキュリティ

紛失時に位置情報を取得、端末ロック、初期化を行う。執行当局の庁内LANにアクセス不可。

(5) 研修・サポート等

レベルに合わせて3回の研修会を実施。本会議・委員会に業者が立ち合い、サポート。



議長許可により資料をモニター投影
各タブレットも画面同期

| 議案第120号 | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-----|
| 議員総数 | | | | | | | 賛成 | | | | | | |
| 38 | | | | | | | 14 | | | | | | |
| 相田真大 | 八田重昭 | 坂本眞弘 | 津田新三 | 吉原容雅博 | 藤井悠也 | 谷祐治 | 山本哲平 | 伊藤茂 | 岸本典子 | 豊野兼明子 | 杉浦智子 | 藤本正弘 | 船本力 |
| 伴孝昭 | 中野治郎 | 津田新三 | 吉原容雅博 | 藤井悠也 | 谷祐治 | 山本哲平 | 伊藤茂 | 岸本典子 | 豊野兼明子 | 杉浦智子 | 藤本正弘 | 船本力 | |
| 竹内基二 | 菅見達夫 | 青山三郎 | 園田寛 | 清水ひとみ | 佐藤弘 | 浜尾修利 | 杉山泰子 | 佐々木松一 | 藤田英清 | 奥村功 | 草川登 | | |
| 横田好雄 | 北村正二 | 武田平吉 | 竹内順夫 | 泉恒彦 | 仲野弘子 | 藤井重美 | 高橋健二 | 磯田英清 | 奥村功 | 草川登 | | | |

電子採決システム・個別賛否表示

～ 委員の所感～ 大津市議会

議会BCPは、全国初の取り組みとして高い評価を受けており、必要性を十分に検討して策定されている。日向市議会でも、総合防災対策特別委員会が「災害時対応要領案」を示しているが、大津市議会BCPを参考に協議する必要性を感じた。

ICT化事業については、議会運営の安定化、効率化、迅速化、市民に開かれた議会の実現を目指して事業化している。日向市においても、新庁舎建設に際しICT化事業をお願いしたい。

議会の広報・広聴機能の強化としての議会報告会の開催、ICT化による電子採決、タブレット導入、資料のペーパーレス化、速記者廃止など多彩な事業に取り組み、大きな効果を上げていることが理解できた。

災害時に設置させる市当局の災害対策本部等との関係が難しい面もあると思うが、議会としての権能を十分に発揮できる体制について整備することは必要。災害時における議員の果たすべき役割を明確にし、業務継続の上からも迅速な対応ができると感じた。

しっかり議論されており、BCP・ICTについて先進的な議会であり、参考にすべきところが多々あった。ICTは執行部との連携利用が利用価値を高めている。全員がタブレットを使いこなすことの躊躇にも積極的に取り組んでいた。

～ 委員の所感～ 大津市議会

議会BCPの見直し体制の対策会議には、計画策定時の議員も参加できて、員外議員の発言が委員長判断で可能としている点は開かれた議会として参考にすべきと考える。

通年議会を導入していることから、常任委員会での継続的な調査、審査、研修等を行っている点が多く、通年議会は我が市議会も要件等事項の一つであろう。

議案や事件決議について提案前の内示会が開催されているが、本来の二元代表制の観点からすれば一考を要する。

行政視察については、常任委員会と議会運営委員会は一人当たり5万円を計上し、特別委員会は予算計上されておらず政務活動費（月額7万円）で対応している。

政務活動費では、電話代6分の1、ガソリン代4分の1が計上可能となっており、我が市議会と比較にならない高額の支給がなされている点は評価できる。



琵琶湖：浮御堂(大津市)

奈良県 奈良市

人口 (平成27年2月現在)

| | |
|----------|-----------------|
| 男 | 171,262人 |
| 女 | 192,243人 |
| 計 | 363,505人 |
| 世帯数 | 158,150世帯 |



奈良市役所

一般会計歳出決算額

140,279,998千円(平成24年度決算)

| うち議会費決算額 | 一般会計に占める議会費の割合 | 議員数 |
|-----------|----------------|-----|
| 712,357千円 | 0.5%(日向市は0.9%) | 39人 |

奈良市議会の取り組み

議会制度検討特別委員会の設置

議員、議会が果たしている役割をより市民にわかりやすく伝え「見える制度」とするため、議会制度全般にわたり調査・検討する。

- ・ 傍聴を認め、原則公開。会議の進捗状況や資料はHPで公開。
- ・ 全会一致の合意形成を目指す。
- ・ 各会派、無所属議員から議会制度に関する検討課題と優先順位を取りまとめ、優先度の高い項目から協議する。

< 主な決定事項 >

本会議に関する議案書、質疑通告書、陳情・請願文書表などのホームページ公開

本会議における傍聴人への議案書の貸し出し

委員会次第書、委員会配布資料のホームページ公開

本会議・委員会のネット生中継とオンデマンド配信

意見書の文案調整は、「意見書等調整会議（非公開）」で整理。全会派一致をもって議会運営委員会で決定し上程。議長会要請のものなどを除き、全会派一致とならない場合は提案せず、反対会派は議会運営委員会（公開）で理由を述べる。

正副議長選挙の立候補制

審議会への議員参画の見直し（条例等に議員参画の定めのない審議会等への委嘱は行われぬ。）

奈良市議会の取り組み

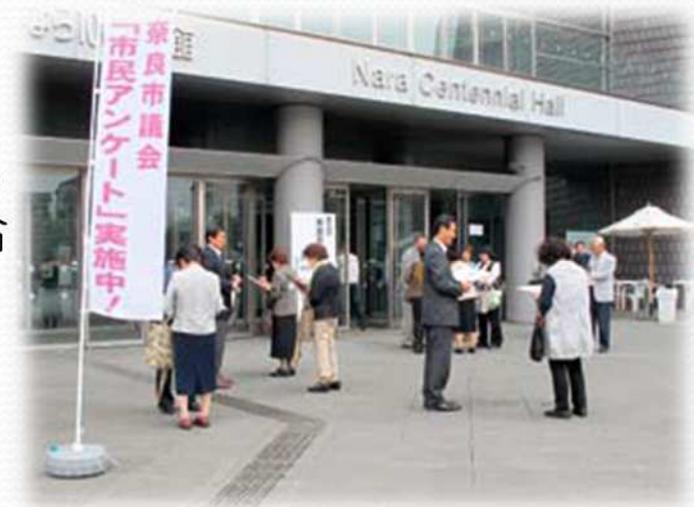
会議への情報通信機器の持込み（試行）

会議規則第159条「協議又は調整を行うための場」として、全員協議会に加え議員総会を設ける。

- ・ 全員協議会...市政の重要課題、災害対応、議会運営上の重要事項
- ・ 議員総会 ...初議会運営

<その他>

- ・ 議会基本条例の制定、政治倫理条例の全部改正
- ・ 郵送、FAX、ホームページのほか、議員が会合やイベントなどに出向いて面談記述を依頼した「議会改革に伴う市民アンケート調査」（回答数2,137件。うち面談1,053件）



日本経済新聞社：議会改革度調査 全国11位(県庁所在地1位・近畿地区1位)
早稲田大学マニフェスト研究所：議会改革度調査2013 全国22位(前回65位)

奈良市議会のICT

1 会議のインターネット中継・録画配信・オンデマンド配信

(1) 概要

本会議、委員会、全員協議会、議員総会等を市議会ホームページでインターネットライブ中継。会議終了後1週間から録画配信。ビデオ・オンデマンド方式（VOD）で4年間保存、ネット環境さえあればいつでも視聴可能。

(2) 経過

20数年前から議場内にカメラを設置し、本会議・委員会を市役所ロビーや記者室、市役所出張所で放映。20年度からネット録画配信を開始。23年度に生中継・オンデマンド配信について議会制度検討特別委員会が検討。執行当局との調整を経て、既存の機器・放送設備を最大限活用して環境整備を図ることを決定。

(3) 経費 214万円（25年度実績） H20～25累計693万円（うち設備費37万円）

(4) アクセス数 平成23年2月：1,661件 平成26年12月：16,923件

(5) 運用等

- ・ 老朽化している機器の更新、HD（高精細度）カメラや無線マイクへの移行が課題。
- ・ 委員会中は各委員会の映像を同時生中継。録画配信は翌々日までに速報版を配信し、10日後には委員発言別の頭出し（チャプター編集）を行った映像に更新。
- ・ 会議資料は、ホームページで公開。

奈良市議会のICT(議会中継)



奈良市議会 議会中継 (ライブ・録画)



奈良市トップ
奈良市議会
会議録検索システム
議会映像トップ

2月26日(木)開催の会議

会期日程選択: 平成26年

定例会
委員会

[3月](#) [6月](#) [9月](#) [12月](#)

[総務委員会](#)
【平成26年3月まで】観光文教水道委員会
[厚生消防委員会](#)
[市民環境委員会](#)
【平成26年3月まで】建設委員会
[予算決算委員会 全体会](#)
[予算決算委員会 総務分科会](#)
【平成26年3月まで】[予算決算委員会 観光文教水道分科会](#)
[予算決算委員会 厚生消防分科会](#)
[予算決算委員会 市民環境分科会](#)
【平成26年3月まで】[予算決算委員会 建設分科会](#)
[議会運営委員会](#)



一時停止 01:22

画面サイズ変更 フル画面再生 ヘルプ

この議会中継(映像及び音声)は奈良市議会の公式記録ではありません

2月13日(木) 総務委員会

| 会議次第及び発言者氏名 | 映像 | 連続再生 |
|-------------|----------|------|
| 開会、理事者より報告 | 00:12:29 | ☑ |
| 北 良晃議員 | 00:14:37 | ☑ |
| 井上昌弘議員 | 00:34:53 | ☑ |
| 宮池 明議員 | 00:32:50 | ☑ |
| 藤田幸代議員 | 00:18:01 | ☑ |
| 八尾俊宏議員 | 00:14:34 | ☑ |
| 横井雄一議員 | 00:18:25 | ☑ |

[連続再生](#)

各種条件から議会映像を探す

| | |
|----------|----------------------|
| 会議種別: | 本会議 |
| 議員(委員)名: | 太田晃司 |
| 質問項目: | <input type="text"/> |

※質問項目の検索は、本会議のみ検索対象となります

検索
条件クリア

[日程表に戻る](#) [ページトップへ](#)

奈良市議会のICT(会議資料の公表)

奈良市トップページ > 議会・委員会 > 市議会 > 建設企業委員会 配布資料(平成26年11月6日開催分)

ダウンロード

- ▶ [奈良市歴史的風致維持向上計画\(案\)について\(3MB\)\(PDF文書\)](#)
- ▶ [奈良市企業局における水道事業ガイドライン「業務指標\(PI\)」算定結果\(報告\)\(883KB\)\(PDF文書\)](#)
- ▶ [奈良市企業局給配水管等修繕業務委託事業者選定に係る建設企業委員会への情報提供について\(44KB\)\(PDF文書\)](#)
- ▶ [あやめ池土地区画整理事業換地図\(63KB\)\(PDF文書\)](#)

こんなときは

- ▶ [手続き・証明書](#)
- ▶ [ごみ・リサイクル](#)
- ▶ [助成・手当](#)
- ▶ [引越し・住まい](#)
- ▶ [妊娠・出産](#)
- ▶ [子育て・入園・入学](#)
- ▶ [就職・退職](#)
- ▶ [結婚・離婚](#)
- ▶ [健康・医療](#)

建設企業委員会 配布資料(平成26年11月6日開催分)

[ツイート](#)

当日の報告内容を[議会中継\(録画\)](#)のページでご覧いただけます。(会議のあった日の概ね1週間後(土曜日、日曜日、祝日を除く)から4年間放映します。)

「資料はこちらから」と記載のあるものは、ダウンロードできます。

平成26年11月6日(木曜日) 開催分 配布資料

報告事項

- 奈良市歴史的風致維持向上計画(案)について(景観課)
…資料は[こちらから](#)(3MB、PDF文書)
- 奈良市企業局における水道事業ガイドライン「業務指標(PI)」算定結果(報告)(経営管理課)
…資料は[こちらから](#)(883KB、PDF文書)
- 奈良市企業局給配水管等修繕業務委託事業者選定に係る建設企業委員会への情報提供について(漏水対策課)
…資料は[こちらから](#)(44KB、PDF文書)

委員作成資料

- 松石聖一委員(無所属)
あやめ池土地区画整理事業換地図
…資料は[こちらから](#)(63KB、PDF文書)

議員作成資料も掲載

奈良市議会のICT

2 会議への情報通信機器の持込み（試行中）

- H24.7 議会制度検討特別委員会で「本会議・委員会へのパソコン・タブレット端末の持込み」が会派提案され、検討課題として扱うことに合意。
- H24.8 防音対策、電源や通信機器の各自持参、自らの審議・審査の使用に限定することで、9月議会からの試行を決定。
- H24.9 議会運営委員会が持込みに関する基準（ルール）作成の申入れ。
- H24.10 「会議中における情報通信機器の使用基準」作成。ホームページでの広報、報道投げ込み、議会だより掲載、執行当局へ通知などを実施。
- H24.12 本会議・委員会での機器持込の試行開始。（議員、執行当局、事務局職員及び市政記者に限る。）



： 現状では、議員の機器の持込みは数名程度。
これに対して、執行当局は、25年度からタブレット35台をリースし、答弁等に活用している。
(25年度事業費353万円)

奈良市議会の議会改革・議会運営

1 文書質問

議員は、閉会中に議長と協議のうえ市長等に対して年4回以内（1回当たり1件、回答期限は約2週間）の文書質問ができる。回答は全議員に通知し、市民に公表。

2 一問一答制と一括質問一括答弁制の選択

平成25年6月定例会から試行。代表質問・個人質問いずれも通告書に記入し、選択。

3 常任委員会の閉会中継続審査申出

毎定例会最終日に、各常任委員会が閉会中の継続審査・調査申出書を提出し、議決。実質、年間を通じて委員会活動を行っている。（申出事項を、**その他** 委員会の所管に属する事項として、所管事務全体を包括する内容）

4 議会報告会

平成26年5月に議会棟で初実施。80名参加。
インターネットで生中継。

5 反問権

平成25年6月定例会から試行（実績なし）

6 議案内示会

全議員が出席し、本会議開会1週間前に執行部から提出議案の概要説明を受ける。



～ 委員の所感～ 奈良市議会

議会改革が進んでいるが、議員間で温度差がありはしないか。議会報告会も参加者が少ないようである。議会基本条例や倫理条例の制定も必要であるが、名だけで実のないものにならないよう、市民に信頼される議会改革が必要と感じた。

議会としての市民意識調査のアンケートの取り組みは、本会議としても取り組む必要性があるのではないかと感じた。

二元代表制のもと、議会の果たすべき役割の重要性が叫ばれているが、議会に対する市民の意識は必ずしも理解されているとは言い難いし、それは議会として、市民の目線での市民への働きかけが不十分であると考え。当市議会では、行政視察報告会、議会報告会に取り組んでいるが、なお一層の取り組みの必要がある。

傍聴を認め、原則公開。会議の進捗状況や提出資料をすべてホームページ上に掲載するなど徹底した情報公開を行っている姿勢が見られた。執行当局が、議会答弁用のタブレット導入経費を計上したにも関わらず、議会との利用連携がないのが残念。議会としてのレベルアップのために議員研修も検討する必要があると感じた。

議員のパソコン・タブレット等の活用状況は、全議員が操作はできるがオールマイティではないとのこと。これからは我が市議会も含め、ペーパーレス化・情報収集のため、IT活用術の向上を目指した議員の機器操作研修等が是非必要であろう。

常任委員会所管事務調査を、閉会中の継続審査申出事項として実施している点は検討事項の一つであろう。



世界遺産：東大寺(奈良市)

